

平成28年12月21日（水）午後2時25分頃

さくらリサイクルセンター内 ごみピット火災

（経過）

前処理設備で火災発生→燃えたごみがコンベヤで運ばれごみピットへ

※前処理設備とは…通常、可燃ごみは直接ごみピットへ搬入されますが、可燃粗大ごみ等は前処

理破碎刃で約30cmの大きさまで破碎してから、コンベヤでごみピットに運ばれます。

ごみピット内でごみクレーンを操作していた職員が、燃えているごみがピット内に入ったことを目撃し、他の職員に通報した。

初期消火にあたるとともに消防に通報、約2時間後に鎮火した。けが人及び施設の損傷はなし。→前月9日に消防と合同火災訓練の成果

（原因）

消防の調査で、出火物を特定出来ませんでした。前処理設備に金属類、若しくは揮発性が高い廃棄物が搬入され、破碎の際に発火、燃焼したものと推測されます。

(対策)

- ・ 正しいごみの分別方法の啓発
- ・ プラットホーム内において、分別指導を行う職員に不適切なごみが混ざっていないか、目視の徹底を指示
- ・ 畳など発火しやすい物は、別に前処理破碎を行う
- ・ 定期的に訓練の実施、想定される火災箇所での対応マニュアルの見直し・作成 等々
(啓発例・伊賀市ホームページ掲載)

ごみ出しで特に注意してほしいこと

火災の原因になりますので、特に下記のことにご注意してください。

- ・ カセットボンベ、スプレー缶、ライター等は、必ず中身を使い切ってから埋立ごみの日に出してください。
- ・ 集積場に出せないストーブやファンヒーター等は、必ず灯油（燃料）を抜いてください。
- ・ 小型家電製品類・電動式おもちゃ等は、必ず乾電池を取り外し金属ごみの日に、乾電池は埋立ごみの日に出してください。

平成29年1月17日（火）午前10時頃

ごみ収集作業中に人身事故発生

（場所）伊賀市平野地区 東海マツダ前ごみ集積場

（負傷者）市ごみ収集委託業者 作業員1名

（原因・結果）塵芥車から降りて収集作業中、サイドブレーキが不完全であったため、塵芥車が動き、塵芥車と壁に挟まれ負傷した。警察・消防等に通報、市内の病院に搬送された。

（対策）

- ・収集業者を集め、安全運転・確認の徹底を指導
- ・収集業務は常に危険が伴うので、交通量の多い交差点など、集積場の移設等を要請

蛍光灯回収・リサイクルの状況

現在、蛍光灯は「埋立ごみ」の日にステーション回収し、リサイクル化をしていない。

水銀使用廃製品の体温計・温度計・血圧計は、平成28年4月から拠点回収（本庁・支所・地区市民センター）を行い、さくらリサイクルセンターでストックしている。

今後は、蛍光灯についても小型家電や他の水銀使用廃製品と同様に、拠点回収方式により回収する予定。例外は以下のとおり。

- ・割れた蛍光灯→従来どおり「埋立ごみ」の日に回収
- ・事業所や会社、商店などから出た蛍光灯→産業廃棄物許可業者へ
- ・拠点回収まで遠い、疾病などの理由により拠点まで持って行けない場合
→従来どおり「埋立ごみ」の日に回収

家庭から排出される環型・直管型・電球型の蛍光管が対象で、水銀を使用していないLED蛍光灯などは対象外です。

買い替えの際は、購入先に引き取ってもらうことを前提に、引き取ってもらえないなどの蛍光管を出す際は、割れないように購入の際の箱に入れるなどして拠点場所まで持って来てもらいます。

蛍光管回収BOXの材質は、割れにくいプラスチック製ダンボールを使用。購入にあたりH29年度予算で計上予定でしたが、今日2日に東京都江東区から無償で、ほぼ同等品39個譲渡を受けました。ただし「江東区」を「伊賀市」に修正等する必要あり。縦×横×奥行・1300（キャスター有+100）×650×450mm

また、拠点場所に回収BOXを置かせてもらうことは、すでに承認を受けています。

処理業者は、市内の業者に委託予定。回収開始時期は、平成29年5月～6月（予定）